

TOWN TOPICS

3.3 (日) メダリスト井上康生さんによる柔道教室

全日本柔道男子監督の井上康生さんと東海大学柔道部監督の上水研一朗さんを招いて、特別講演会と柔道教室(須恵町おやじの会主催)が行われました。

アザレアホール須恵で行われた講演会では、上水さんが、全日本学生優勝大会で10度の優勝に導いた話や指導者が選手の特性を生かしながらどのように育成するかなどを話されました。また、井上さんも交えたディスカッションが行われ、リオデジャネイロオリンピックで日本選手団の全階級制覇という偉業を成し遂げた話や井上改革の人生論などが話されました。講演会終了後は、須恵中学校体育館で、少年柔道クラブを対象とした柔道教室が行われ、参加者一同は貴重な体験と楽しい時間を過ごしました。



柔道教室で指導を行う井上さん

TOWN TOPICS

3月 旅立ちの日

3月中旬、町内各小中学校、幼稚園などで卒業式および卒園式が行われました。

幼稚園などの卒園式では、卒業証書を受け取った子どもたちが、証書を高々と掲げながら、保護者のもとへ進みました。証書を受け取った保護者と笑顔で喜ぶ姿や、今までの思い出を振り返って涙を流す子どもたちの姿が印象的でした。

小中学校の卒業式では、子どもたちはこれまでの成長を感じさせるりりしい表情で入場し、式典ではこれで最後に校歌を、気持ちを込めて歌っていました。

お世話になった先生や保護者、地域の皆さんへの感謝の気持ちを胸に、子どもたちは新たな世界に羽ばたきます。



アザレア幼稚園



れいんぼー保育園



南幼稚園



須恵東中学校



れいんぼー幼稚園



須恵第一小学校

TOWN TOPICS

2.17 (日) 須恵町出身ランナー、42.195kmを激走

北九州マラソン2019(北九州市および一般財団法人福岡陸上競技協会主催)が行われ、須恵町出身の塚本秀志さんが2時間20分36秒のタイムで優勝しました。優勝した塚本さんから、次のようにコメントが届きました。

「このたび、2年ぶりに北九州マラソンで優勝する事ができました。後半35kmから低体温症になり失速しましたが、それでも自己記録を更新し、現役の実業団選手にも競り勝てたことで、自分のためになる環境があれば“35歳の市民ランナーでもまだまだやれる”と言うことを証明できたと思います。私は高校卒業後から北九州市に在籍していますが、故郷である須恵町には、その環境が十分に整っていると確信しています。現在、須恵町では私の中学・高校時代の陸上部の先輩たちが中心となり、陸上教室などを通して子どもたちに走ることの楽しさを教えていると聞きました。そういった活動から、さまざまな分野で活躍する子どもたちが出てくることを心から願っています。」



両腕をひろげゴールする塚本さん

TOWN TOPICS

2.17 (日) かけ声「せーの」で綱を引く



奮闘する須恵高校チーム

第34回綱引き大会(須恵町体育協会主催)が須恵中学校体育館で行われ、行政区や各種団体から31チーム(314人)が出場しました。

4部門に分かれ競い合った選手たちは、親睦を図りつつも、各団体一丸となって、熱戦を繰り広げていました。

大会結果は次のとおりです。(上位3位まで)

- 一般男子 ①須恵 ②甲植木 ③乙植木A
- 男女混合 ①佐谷 ②乙植木A ③甲植木
- 小学生 ①乙植木A ②甲植木 ③須恵
- 親子男子 ①乙植木 ②佐谷 ③須恵

TOWN TOPICS

2.20 (水) 少年少女よ、大志を抱こう

アザレアホール須恵大ホールで立志式が開催されました。

立志式は、中学2年生を対象に、将来に対する具体的な夢や目標を持ってもらうことを目的として行われます。

須恵中・須恵東中の2年生全員が、夢や目標について作文を書き、各学校を代表して4人の生徒が壇上で自分の夢や目標を発表しました。

参加した生徒たちは、同級生の将来の夢や目標に対する発表、講師らの話に目を輝かせて聞き入っていました。



私の夢、私の目標

TOWN TOPICS

2.23 (土)・24 (日) 文化の祭典 開催



熱演する子どもたち
(写真提供 フォトクラブ須恵)

後期芸文祭(須恵町文化協会主催)がアザレアホール須恵で行われました。この催しは、文化協会に所属する各種サークルが一同に集まり、楽しく文化に触れ親しむことを目的として始まりました。

今年度の後期芸文祭は二日間にわたり開催され、日本舞踊・バレエ・ピアノ・カラオケなど、全98演目が披露されました。ハワイエでは茶道のお茶席や子どもたちが伝統文化体験教室で制作したいけばな作品の展示、フォトクラブ須恵の写真の展示があり、訪れた人は熱心に鑑賞していました。